

小学生で身につけたい力／マネー・キャリア・性教育／中学受験対策

# AERA Kids with

2021 冬号  
定価998円

小学生のうちに身につけたい!  
|

# 思 考 力 や り 抜 く 力 伝 え る 力



中学受験直前対策  
4教科 必勝テク!

Book  
in  
Book



巻頭エッセイ

山崎ナオコーラさん  
「どんな力でもいい」

おうちで  
どう教える?  
マネー・  
キャリア・性

子どもの“免疫力”  
高める生活習慣

Cover Interview

料理家 和田明日香さん



多くの社会問題に真っ向から取り組み、共有することで解決への道筋をつける「リディラバ」を学生時代に立ち上げた安部さん。「自分こそが社会問題そのものだった」と思春期の頃を振り返り、率直に語ってくれました。

連載

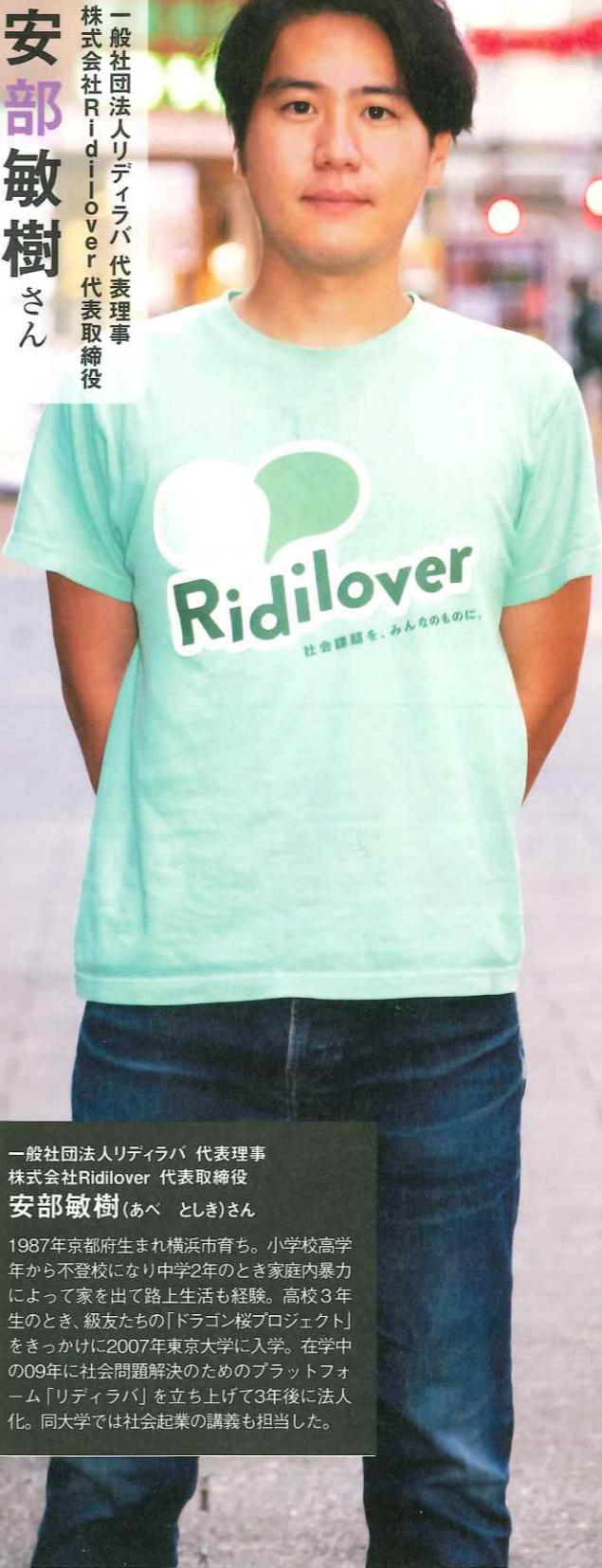
14

## 花まる学習会代表 高濱正伸の

# 花まる TALK

ゲスト

安部 敏樹さん  
一般社団法人リディラバ 代表理事  
株式会社 Ridilover 代表取締役



一般社団法人リディラバ 代表理事  
株式会社 Ridilover 代表取締役  
安部敏樹(あべ としき)さん

1987年京都府生まれ横浜市育ち。小学校高学年から不登校になり中学2年のとき家庭内暴力によって家を出て路上生活も経験。高校3年生のとき、級友たちの「ドラゴン桜プロジェクト」をきっかけに2007年東京大学に入学。在学中の09年に社会問題解決のためのプラットフォーム「リディラバ」を立ち上げて3年後に法人化。同大学では社会起業の講義も担当した。

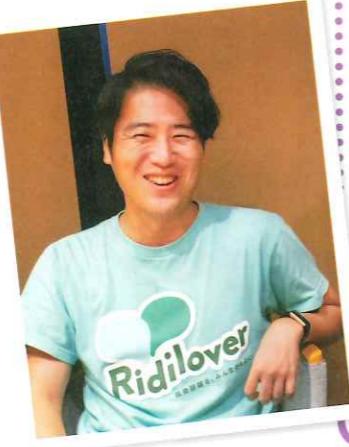


構成・文：篠原麻子 写真：矢部ひとみ 136

TALK

### 社会問題を個の問題にしない。みんなが関わり解決のプロセスを考える

社会問題へのアプローチは無関心の打破から始まる



高濱 もう寒い時期なのに半袖のTシャツ姿ですか(笑)。

安部 僕の会社「リディラバ」のTシャツです。公に出るときはほとんどこれを着てアピールします。

高濱 リディラバの意味は?

安部 「Ridiculous things lover」(バカバカしいことが好きな人)が由来です。最初は仲間数人と始めたボランティア団体で、遊び心をもってなんでも楽しんでやろうと。

高濱 でもやっていることは、さまざまな社会問題の現場に足を運んでみんなで解決するという頗もしさ。しかもそれを事業、ビジネスにしたのがすごい。

安部 日本全国いろいろな現場に行きました。子どもの貧困、食品の大量廃棄、マイノリティーの労働事情、衰退産業、過疎化した村などなど、なんでもあります。自分に関係ないと見えないし気

高濱 はここまでしかできませんなんて一番ダメじゃないですか。

高濱 そのセンスが最高だよね。事業の哲学、美学があるから、新たに行動を移すことには躊躇しない。でもたいていは自分の仕事はここまでと枠にはめこむんだ、

そのほうがラクだから。そうすると自ずと組織も個も硬直化してしまう。それは心に響くのか、夢中になれるのかという熱い思いを行動規範にしていないと、いつの間にか枠だけで内面がなくなるんだよなあ。幼児期はなんにでも夢中になれりし、行動できるのに。

安部 確かに大人のほうが内省しないとどうか、言葉を適当に使うというか。僕、言葉の意味合いをきちんと定義できてないといやなんですよ。今日も採用面接があつたんだけど、相手が「社会性のある仕事を」と言ったので「社会性って何ですか」と聞くとうまく答えられない。

高濱 適当に使ってわかったふりをしてほしくないんでしょ。言葉の意味合いにこだわる人って僕のまわりにも多い。

安部 社会問題って、対象ではなく、個体の課題を群れに共有して解決する、そのうえで対話を重ねて解決のための合意形成をし、資源を投入する。そのためにも法人化して、ツアーや旅行業の資格をとったり、ジョインベンチャーや新たな技術開発も始めた。省庁や自治体とも一緒に動くし、メディアも立ち上げました。必要なことはなんでもやる、金になるかどうかは二の次。だってうち

はここまでしかできませんなんて一番ダメじゃないですか。そこにはその人の置かれている環境やシステムが深く関わっている。でもマイノリティーに見えづらい。だからこそみんなでそこを掘つて共有して、みんなの持つ知恵や資源を投入しないと解決できない。

高濱 自己責任ではなく、社会の問題としてみんなで関わることが大切だと。

安部 これは人間としての特徴だと思います。そもそも僕自身が昔「ザ・社会問題」だったの、マイノリティーに無関心ではない。

高濱 少し知っています。安部くんが社会問題だった頃の話は。

安部 (笑)。本当はね、「オレ、昔はワルかつたんですよ」と言うエピソードはあまり良くないと思っているんです。カッコ悪いですね。でも今回はアエラウイズキッズですからあえて話します。僕は中高時代ほとんど学校に行っていないばかりか、家庭内暴力を起こして家にいられなくなつたようなダメな人間で。そしてその頃は、本当に一人ぼっちでした。親も友人も先生も自分を疎む。だからこそ、僕は自分だけは自分のことを嫌いに

居場所のなかつた中学時代『自分だけは自分のことを嫌いにならぬ』と決めた

(安部)

## 子どものときから

「自分で決める」経験を

(高濱)

重ねることほどても大切



ならないぞと決めたんです。

高濱 それはいくつ時?

安部 中2です。僕の子ども時代はいい記憶がまるでないんです。まず小3から

から父の仕事の関係で非常に貧乏だつた。たんにお金がないだけで、借金

とりに追われていたからいつも「夜逃げバ

ツグ」を持たされて。

高濱 それはキツイなあ。

安部 一方で僕は国立大付属の学校に通つて野球もやつていて、実はけつこう強くてスカウトも来たくらい。でもそれ以外はボロボロ。練習には行つても学校はほとんど行かずで、家庭では反抗しまくつて。で、中2のとき、野球をやめさせようとした母に暴力をふるつてしまつた。

高濱 家を追い出されたくらいだから、相当ひどかったんだね。

安部 父の母、ばあちゃんに預けられ

人も「しでかした」僕の事情を知りながら、ユルく見守つて応援してくれた。この頃から自分の中の空っぽだったバケツに、どんどん愛情が満たされていくのが実感できました。世の中の見え方が急に変わつて。リディラバを作つたのもその延長線上にありますね。

高濱 社会問題のまつだ中にいたからこそ、切り込む視点を持てたんだね。

安部 うわ、話していたら関わつてくれた大人の話、いろいろ思い出してきた。

高濱 うしろにいたからこそ、切り込む視点を持てたんだね。

安部 うん、話していくうちに空っぽになつたバケツが、だんだんと大きくなつて、

人の中の空っぽになつたバケツが、だんだんと大きくなつて、

## 夢中ならみつともなくともいい 自分の哲学から目をそむける ほうがカツコ悪いしダサイ

(安部)



ました。そこにも帰つたり帰らなかつたりで、路上生活も経験しました。似たような仲間とつるんでみたこともあつたけど、基本は一人ぼっちでした。

高濱 きょうだいはいなかつたの?

安部 年子の弟と六つ下の妹がいます。

幼少期、弟は体が弱くてアレルギーもあつたので、母はそつちにかかりきり。妹も幼い頃から不登校でしたから、問題は多かつたですね。

高濱 あー……。実はきょうだい間比較が引き起こす問題つてけつこう多いんだよね。意外と親は気づかないけど。

安部 親からすれば、子どもの数が増えると大変です。

高濱 いや、親同士のネットワークがあれば大丈夫。

肉親じやない他人の大人の視点が必要なんだ。

高濱 なるほど。

そういうえば、うち

の母に「そんなに怒らなくても」と言つてくれた幼なじみのお母さんが近所にいました。ああいう人がいることが大事なんですね。大人の側としてはそうですね。ただ、子ども側が受け入れられないパターンもありますよね。その頃の僕には、いわば破滅願望みたいなものがありました。ケンカもそれなりに強かつたんですけど、それは自分の命なんてどうでも良かったから。

高濱 わかる。ケンカの相手としてはそういう人間が一番怖いもの。でも結局それが引き起こす問題つてけつこう多いんだよね。意外と親は気づかないけど。

高濱 わかる。ケンカもそれなりに強かつたから。

高濱 わかる。ケンカの相手としてはそういう人間が一番怖いもの。でも結局それが引き起こす問題つてけつこう多いんだよね。意外と親は気づかないけど。

こからさらに堕落しなかつたのは、自分を嫌いにならないという強い意志のおかげ?

安部 うーん、誰も自分を好きになる、そういう自分が自分を好きになると考え始めたのは。夢中になって、眞面目にやつて、みつもないのはいいじゃないか、だつたらなんでもチャレンジして場数を踏めば、本当の意味で強くなれるの

いけれど、ダサいのだけはやめようと考え始めたのは。夢中になって、眞面目にやつて、みつもないのはいいじゃないか、だつたらなんでもチャレンジして場

で、と思うようになつて。

高濱 そのチャレンジのひとつが「ドラゴンプロジェクト」?

安部 そうですね。高校から補欠枠で入った中高一貫校もなんとか仮進級で高三まで來たけど、さすがに上の大学には行けない。「ドラゴン桜」と似た偏差値だつたので、じゃあ東大を目指せよ!と友人や担任が面白がつてくれたのが始まりでした。本当に僕は運が良かつた。先生も友

の母に「そんなに怒らなくても」と言つてくれた幼なじみのお母さんが近所にいました。ああいう人がいることが大事なんですね。大人の側としてはそうですね。ただ、子ども側が受け入れられないパターンもありますよね。その頃の僕には、いわば破滅願望みたいなものがありました。ケンカもそれなりに強かつたんですけど、それは自分の命なんてどうでも良かったから。

高濱 わかる。ケンカの相手としてはそういう人間が一番怖いもの。でも結局それが引き起こす問題つてけつこう多いんだよね。意外と親は気づかないけど。

高濱 わかる。ケンカもそれなりに強かつたから。

高濱 わかる。ケンカの相手としてはそういう人間が一番怖いもの。でも結局それが引き起こす問題つてけつこう多いんだよね。意外と親は気づかないけど。